

1992年度 忠清北道教育費特別會計

決算 検査 意見書

忠清北道決算検査委員

目 次

I. 決算検査意見書	804
II. '92 歳入・歳出決算	806
1. '92 教育費特別會計 歳入・歳出 決算	807
2. '92 移越事業	812
3. 不用額の 性質別, 原因別 分析	813
4. 施設投資 実績	814
5. 債権・債務 現在額	815
6. 財産 現在額	816
7. 金庫決算	819
III. 分野別 決算検査 内容	820

I. 決算 検査 意見書

決算 檢 查 意 見 書

忠清北道教育監 貴下

1993. 9. 14.

우리는 地方自治法施行令 第46條의 規定에 의거 忠清北道 議會로부터 忠清北道 教育費特別會計에 대한 決算檢査를 委囑 받아 1993年 8月 16일부터 20日間 地方自治法施行令 第47條에 規定된 事項에 대하여 檢査를 하였습니다.

忠清北道教育監이 提出한 1992 會計年度 決算書 및 附屬書類는 地方財政法과 忠清北道教育費特別會計 財務會計規則 및 教育部 教財 81444-38('93. 2. 24)에서 정한 會計處理 方法에 따라 作成되었으며, 決算檢査結果 分野別 檢査內容(Ⅲ)을 除外하고는 歲入·歲出, 移越事業費, 債權 및 債務, 公有財產 및 金庫의 決算內容은 地方財政法施行令 第38條의 規定에 따라 表示되고 있어 適正한 決算이 되었습니다.

忠 清 北 道 決 算 檢 査 委 員

代 表 委 員	金	慶	會	(印)
委 員	朴	晚	淳	(印)
委 員	金	泗	洙	(印)
委 員	金	英	洙	(印)
委 員	李	忠	漢	(印)

II. '92 歲入・歲出決算

1. '92 教育費特別會計 歲入·歲出 決算

가. 總 括

(單位：百萬圓)

豫算現額	歲 入 決算額	歲 出 決算額	歲 計 剩餘金	剩餘金 內容			備 考
				明示移越	事故移越	純歲計剩餘金	
387,458	388,361	353,347	35,014	2,754	1,274	30,986	

• '92 教育費特別會計 歲入·歲出 豫算規模는 387,458百萬圓 ('91移越額 15,920百萬圓 包含)으로서,

• 歲入決算額은 豫算現額對 100.2%에 該當하는 388,361百萬圓을 收納하였으며,

• 歲出決算額은 豫算現額對 91.2%에 該當하는 353,347百萬圓을 執行함으로서

• 歲計剩餘金이 35,014百萬圓이 發生하였는 바

이는

- 明示移越費 2,754百萬圓
- 事故移越費 1,274百萬圓
- 純歲計剩餘金 30,986百萬圓으로서,

金額 翌年度에 移越處理 되었음.

4. 歳入 決算

1) 歳入 現況

(単位：千円)

区分 款別	豫算 現額 (1)	徴收決定額 (2)	收 納 額 (3)	不納欠損額 (4)	未 收 納 額 (2-3-4)	比 率	
						(1) : (3)	(2) : (3)
合 計	387,457,778	388,414,809	388,361,242	50,712	2,855	100.2	99.9
財 産 收 入	1,909,500	2,270,850	2,270,093	0	757	118.9	100.0
使用料 및 手数料	26,984,029	27,176,025	27,124,341	49,830	1,854	100.5	99.8
實 習 收 入	867,439	898,549	898,549	0	0	103.6	100.0
地方教育 財政交付金	264,260,655	264,261,359	264,261,359	0	0	100.0	100.0
地方教育 譲與金	57,628,000	57,628,000	57,628,000	0	0	100.0	100.0
補 助 金	3,152,722	3,157,414	3,157,414	0	0	100.1	100.0
寄 附 金	1	0	0	0	0	0	0
過年度收入	2,250	2,357	1,981	132	244	88.0	84.0
轉 入 金	841,517	826,488	826,488	0	0	98.2	100.0
地方教育債	1	0	0	0	0	0	0
雜 收 入	1,851,127	2,233,231	2,232,481	750	0	120.6	100.0
移 越 金	29,960,537	29,960,536	29,960,536	0	0	100.0	100.0

2) 不納 欠損 内訳

(単位：千円)

区分 科目	豫 算 額	徴 收 決 定 額	收 納 額	不 納 欠 損 額	事 由
合 計	26,889,558	27,133,094	27,080,528	50,712	
入 學 金	189,794	196,350	196,221	129	・ 自退學生 入學金
授 業 料	26,513,143	26,712,527	26,660,972	49,701	・ 自退學生 授業料
使用料 및 手数料	921	920	788	132	・ 自退學生('91授業料)
雜 收 入	185,700	223,297	222,547	750	・ 教員労組 訴訟 費用 負擔金

〈 確 認 結 果 分 析 〉

○ 歳入豫算現額 387,457,778千원에 對하여 388,414,809千원을 徵收決定하고 100.2%에 該當하는 388,361,242千원이 收納 되었으며, 그 內容은

1. 依存收入인

- 地方教育財政交付금이 264,261百萬元(68.1%)
 - 地方教育讀與金 57,628百萬元(14.8%)
 - 補助金, 寄附金, 轉入金이 3,984百萬元(1.0%)으로
- 總 325,873百萬元 (83.9%)이며

2. 自體收入은 32,527百萬元 (8.4%) 으로서

- 財産收入(土地賣却代 等) 2,270百萬元(0.6%)
- 使用料 및 手數料 (授業料 等) 27,124百萬元(7.0%)
- 實習收入(農高 生産物 賣却 代) 899百萬元(0.2%)
- 過年度 收入 2百萬元(0%)
- 雜收入이 2,232百萬元(0.6%)이고

3. 移越金은

- '91 明示 移越費 9,021百萬元(2.3%)
 - '91 事故 移越費 6,899百萬元(1.8%)
 - '91 純歲計 剩餘金 14,041百萬元(3.6%)으로
- 總 29,961百萬元(7.7%)이며

4. 不納缺損額 51百萬元은

- 自退學生 入學金 및 授業料 50百萬元
- 雜 收 入 1百萬으로서

'92. 歳入決算은 豫算現額보다 100.2% 超過하여 徵收決定을 하고 99.9%의 收納實績을 擧揚함으로써 適正을 期한 것으로 判斷됨.

다. 歲出決算

(單位：千圓)

區分 款別	豫算額 ①	前年度 移越額 ②	移用·移替 豫備費使用 ③	豫算現額 ④=(①+ ②+③)	支出額 ⑤	다음年度 移越額 ⑥	不用額 ⑦=(④- ⑤-⑥)	執行率	不用率	備 考
								④:⑤	④:⑦	
合計	371,537,555	15,920,223	0	387,457,778	353,347,008	4,028,499	30,082,271	91.2	7.7	
教育委員會費	390,014	0	0	390,014	318,318	0	71,696	81.6	18.4	
教育行政費	20,771,062	0	117,572	20,888,634	19,195,653	0	1,692,981	91.9	8.1	
教育事業費	5,766,485	0	0	5,766,485	4,436,958	0	1,329,527	76.9	23.1	
學校費	295,778,566	9,400	△82,572	295,705,394	277,443,523	0	18,261,871	92.8	6.2	
施設費	30,799,625	15,449,765	0	46,249,390	37,651,130	3,944,657	4,653,603	81.4	10.1	
教育環境改善 事業費	14,045,618	461,058	0	14,506,676	14,301,426	83,842	121,408	98.6	0.8	
過年度支出	7	0	0	7	0	0	7	0	100.0	
償還金	35,384	0	0	35,384	0	0	35,384	0	100.0	
豫備費	3,950,794	0	△35,000	3,915,794	0	0	3,915,794	0	100.0	

〈確認結果分析〉

○ '92.教育費特別會計歲出決算은 歲出豫算現額 387,457,778千원에 對하여 支出額은 353,347,008千원으로서 91.2%를 執行하였으며, 移越額은 豫算現額의 1.1%인 4,028,499千원이고, 不用額은 豫算現額의 7.7%인 30,082,271千원임.

1. 支出額 353,347百萬元(91.2%)의 內譯은

- 教育委員會費	318百萬元(0.1%)
- 教育行政費	19,196百萬元(5.4%)
- 教育事業費	4,437百萬元(1.3%)
- 學校費	277,444百萬元(78.5%)
- 施設費	37,651百萬元(10.7%)
- 教育環境改善事業費	14,301百萬元(4.0%)이며,

2. 移越額은 4,028百萬元(1.1%)으로서

- 施設費	3,944百萬元(97.9%)
- 教育環境改善事業費	84百萬元(2.1%)이고,

3. 不用額 30,082百萬元(7.7%)의 內容은

- 教育委員會費	72百萬元(0.2%)
- 教育行政費	1,693百萬元(5.6%)
- 教育事業費	1,329百萬元(4.4%)
- 學校費	18,262百萬元(60.7%)
- 施設費	4,654百萬元(15.5%)
- 教育環境改善事業費	121百萬元(0.4%)
- 豫備費	3,916百萬元(13.1%)
- 其他償還金 등	35百萬元(0.1%)으로서

歲出豫算執行도 全般的으로 適正을 기하였다고 思料됨.

2. '92. 移 越 事 業

(單位：件, 千円)

機能別	區分		移 越 事 業				備 考
			明 示 移 越		事 故 移 越		
合 計	7	2,754,039	40	1,274,460	47	4,028,499	
○ 學 校 施 設	7	2,754,039	33	1,153,618	40	3,907,657	
國民學校	2	898,119	22	798,235	24	1,696,354	(明示) 敷地整地 (事故) 校舍新(増)築 設計用役 校門 及 階段
中 學 校	2	696,000	4	144,801	6	840,801	(明示) 土地買入, 敷地整地 (事故) 校舍・新(増)築, 設計用役
高 等 學 校	2	259,920	7	210,582	9	470,502	(明示) 職業教育擴充 事業費 (事故) 實習室増築
特 殊 學 校	1	900,000			1	900,000	(明示) 學校移轉(峙斗)
○ 其 他 施 設			2	37,000	2	37,000	(事故) 堤川學生野營 場講堂新築
○ 教 育 環 境 改 善 事 業 費			5	83,842	5	83,842	
國民學校			3	53,642	3	53,642	(事故) 舍宅買入, 校舍修繕
中 學 校			2	30,200	2	30,200	(事故) 舍宅買入, 校舍修繕

3. 不用額의 性質別 原因別 分析

(單位：百萬圓)

區分 性質別	豫算現額	不用額		原 因 別				
		金額	%	計劃取消變更	豫算節減	支給事由未發生	執行殘額	豫備費
合 計	387,458	30,082	7.7	99	962	907	24,198	3,916
人 件 費	269,961	17,965	7.4	4	2	21	17,938	0
物 件 費	23,314	1,337	5.7	20	737	72	508	0
私學支援	20,953	833	3.9	11	112	0	710	0
經常移轉	5,055	1,054	20.8	2	11	814	227	0
資本去來	64,259	4,977	7.7	62	100	0	4,815	0
其 他	3,916	3,916	100.0	0	0	0	0	3,916

〈確 認 結 果 分 析〉

○ 教育費特別會計 不用額 30,082百萬圓은

- 計劃取消 및 變更 99百萬圓(0.3%)
- 豫算節減 962百萬圓(3.2%)
- 支給事由 未發生 907百萬圓(3.0%)
- 執行殘額 24,198百萬圓(80.5%)
- 豫備費 3,916百萬圓(13.0%)으로 分析되었음.

4. 施設投資実績

(単位：百万円)

事業別 区分		豫 算			實 績	'93.移越	不用額
		'91.移越	'92.豫算	計			
合 計		15,911	44,845	60,756	51,952	4,029	4,775
學校新設 吳 移轉	物量(校)	7	6	13	7	6	
	金 額	10,099	15,114	25,213	18,445	2,804	3,964
校室増改築	物量(室)	68	250	318	306	12	
	金 額	1,435	8,842	10,277	9,777	421	79
老朽教室重修	物量(室)	32	644	676	675	1	
	金 額	181	3,450	3,631	3,590	19	22
便所改良	物量(棟)	3	68	71	71		
	金 額	159	1,966	2,125	2,089		36
二重窓設置	物量(室)	16	1,106	1,122	1,122		
	金 額	19	2,268	2,287	2,231		56
舍 宅	物量(棟)	5	43	48	46	2	
	金 額	176	1,248	1,424	1,343	58	23
校室暖房改善	物量(室)	14	1,323	1,337	1,337		
	金 額	6	492	498	495		3
책걸상 對替	物量(組)	1,675	14,262	15,937	15,827		
	金 額	37	276	313	311		2
職業教育擴充	數量(校)	1	13	14	10	4	
	金 額	318	4,361	4,679	4,153	471	55
其他施設	數 量						
	金 額	3,481	6,828	10,309	9,518	256	535

5. 債權・債務 現在額

가. 債 權

(單位：千圓)

區 分	'91末 現在額	'92. 發生額	'92. 消滅額	'92末 現在額	備 考
合 計	355,565	2,611	355,321	2,855	
財 產 收 入	1,436	757	1,192	1,001	
授 業 料	920	1,854	920	1,854	
電 話 加 入 權	353,209	0	353,209	0	無體財產으로 轉換

나. 債 務：該當없음

<確 認 結 果 分 析>

가. 債 權

- '91年度末 債權 現在額은 355,565千圓으로서, 財產收入이 1,436千圓이며, 授業料가 920千圓이고 電話加入權이 353,209千圓으로서 '92年度중 財產收入 244千圓을 제외하고는 全額 收納되었고,
- 電話 加入權에 대하여는 公有財產중 無體財產으로 轉換 處理하여 消滅 시킨 것이며,
- '92年度 發生된 債權額은 財產收入 757千圓, 授業料 1,854千圓으로 '92年度末 現在 債權額은 總 2,855千圓으로 確認 되었음.

6. 財 產 現 在 額

(單位：百萬圓)

區分 財產別	'91末現在	'92. 增 減		'92末現在	備 考
		增	減		
合 計	327,072	72,082	36,105	363,049	
○ 公 有 財 產	306,478	65,751	31,795	340,434	無體財產(電話加入權) 포함.
- 行 政 財 產	306,447	62,224	30,629	338,042	
- 雜 種 財 產	31	3,527	1,166	2,392	
○ 物 品	20,594	6,331	4,310	22,615	

※ 內 譯 : 別 添

〈 確 認 結 果 分 析 〉

- '91年度末 財產現在權은 行政財產 306,447百萬圓, 雜種財產 31百萬圓, 物品 20,594百萬圓으로서 總 327,072百萬圓이며,
- '92年度中 財產 增加額은 總 72,082百萬圓으로서 行政財產 62,224百萬圓, 雜種財產 3,527百萬圓, 物品 6,331百萬圓이 增加되었으며, 減少額은 總 36,105百萬圓으로 行政財產 30,629百萬圓, 雜種財產 1,166百萬圓, 物品 4,310百萬圓으로서,
- '92年度末 現在額은 公有財產 340,434百萬圓, 物品 22,615百萬圓으로서 總 363,049百萬圓으로 確認 되었음.

7. 公有財產 增減 現況

(單位：百萬圓)

區分 用途	種類	單位	'91年末 現在①		'92年度中 增減				'92年末 現在②		增 減 率 ①：② (%)	備 考
			數量	金額	增		減		數量	金額		
					數量	金額	數量	金額				
合 計				306,478		65,751		31,795		340,434	111.0	
政 府 財 產	小 計			306,447		62,224		30,629		338,042	110.3	
	土 地	千m ²	12,130	111,079	306	25,585	711	24,226	11,725	112,438	101.2	
	林 野	千m ²	11,744	3,573	932	2	323	1,380	12,353	2,195	61.4	
	林 木 竹	本	21,501	427	352	3	551	162	21,302	268	62.7	
	建 物	千m ²	1,501	181,464	91	33,899	67	4,476	1,525	210,887	116.2	
	工 作 物	飾	10,943	9,528	428	2,257	455	385	10,916	11,400	119.6	
	機 械 器 具	點	47	376	11	115	0	0	58	491	130.0	
	無 體 財 產	件	0	0	2,157	363	0	0	2,157	363		電 話 加 入 權
雜 種 財 產	小 計			31		3,527		1,166		2,392	7,716.1	
	土 地	千m ²	25	31	459	877	79	254	405	654	2,109.6	
	林 野	千m ²	0	0	265	93	10	15	255	78		
	林 木 竹	本	0	0	452	5	9	0	443	5		
	建 物	千m ²	0	0	44	2,337	15	826	29	1,511		
	工 作 物	飾	0	0	264	215	164	71	100	144		

4. 物品増減 現況

(單位：百萬圓)

區分 品種別	'91年末 現在額①		'92年度中 増 減				'92年末 現在②	
	數量	金額	増		減		數量	金額
			數量	金額	數量	金額		
合 計		20,594		6,331		4,310		22,615
電 氣 機 器	1,250	1,737	428	486	320	379	1,358	1,844
通 信 機 械	1,042	1,492	388	494	354	456	1,076	1,530
工作 具 木工機械	618	2,687	81	401	37	79	662	3,009
土 木 機 械	72	283	3	2	0	0	75	285
試 驗 測 定 機 械	1,627	2,040	181	307	28	87	1,780	2,260
荷 役 運 搬 機 器	9	46	1	4	2	3	8	47
產 業 機 器	1,483	3,205	357	831	358	720	1,482	3,316
船 舶 用 機 器	3	5	1	3	0	0	4	8
車 輛 具 軌 道	190	1,505	50	506	57	344	183	1,667
醫 療 機 器	11	10	11	149	0	0	22	159
特 殊 用 途 機 器	172	270	66	80	21	19	217	331
業 機 器	6,244	7,314	2,822	3,068	1,951	2,223	7,115	8,159

7. 金庫決算

○ 資金殘額管理現況

(單位：百萬圓)

區分 期別	收 入			支 出			殘 額	殘 額 管 理		
	收 納 額	過 誤 納 金 返 還	計	支 給	返 納	計		公 共 預 金	定 期 預 金	金 錢 信 託
3 月 末	101,358	1	101,357	79,057	6	79,051	22,306	906	11,000	10,400
6 月 末	178,626	1	178,625	159,917	20	159,898	18,727	327	14,500	3,900
9 月 末	276,063	1	276,062	255,739	2,701	253,038	23,024	624	0	22,400
年 度 末	388,370	9	388,361	356,773	3,426	353,347	35,014	114	0	0

〈確 認 結 果 分 析〉

- '92年度末 金庫 決算額은 388,370百萬圓이 收納되고 過誤納金 返還이 9百萬圓으로서 總收入額은 388,361百萬圓이며,
- 支出額은 356,773百萬圓이 支給되고 3,426百萬圓이 返納된 353,347百萬圓이 支出되어,
- 殘額은 35,014百萬圓이며 그중 '93會計年度로 34,900百萬圓을 決算前 移入시키고 114百萬圓은 公共預金 殘額으로 確認 되었음.

III. 分野別 決算検査 内容

1. 歲出豫算 不用額 過多

□ 現 況

가. 性質別 分析

(單位：百萬圓)

年 度	豫算規模	不 用 額		人件費	物件費	私 學 支 援	經 常 移 轉	資 本 支 出	豫備費
'92	387,458	30,082	7.8%	17,965	1,337	833	1,054	4,977	3,916
'91	340,444	17,536	5.2%	11,336	629	1,117	683	1,812	1,959
增△減	47,014	12,546		6,629	708	△284	371	3,165	1,957

나. 原因別 分析

(單位：百萬圓)

年 度	不 用 額	計 劃 變 更 取 消	支 給 事 由 未 發 生	豫 算 節 減	執 行 殘 額	豫 備 費	其 他
'92	30,082	99	907	962	24,198	3,916	
'91	17,536	440	672	190	14,249	1,959	26
增△減	12,546	△341	235	772	9,949	1,957	△26

□ 指 摘 事 項

- 不用額을 性質別로 分類하여 前年度 決算 結果와 比較하면 總額對比 58%(12,546百萬圓)가 增額되었으며, 그 內容은
 - 人件費 58% (6,629百萬圓)
 - 物件費 112% (708百萬圓)
 - 經常移轉 54% (371百萬圓)
 - 資本支出 175% (3,165百萬圓) 이며,
- 原因別 分析結果를 보면 執行殘額이 總不用額의 80%에 該當하는 24,198百萬圓에 이르고 있는등 소중한 財源을 死藏한 所致로서 效率의 財政運營을 기하지 못한 것이라 하겠음.

□ 措 置 意 見

- 適正需要算定에 慎重을 기하고 確保豫算의 細密한 計劃에 의한 着誤없는 執行으로 不用額의 最少化에 努力하고
- 與件變動事 事由未發生時 이를 調整 再投資함으로서 健全財政 運用을 기하여야 할것임.

2. 歲出豫算編成 不合理

□ 現 況

가. 給與管理現況

(單位：百萬圓)

區分 所管別	豫 算 額	豫 算 移 用	豫 算 現 額	支 出 額	不 用 額	備 考
合 計	265,597	2,678 △2,678	265,597	247,658	17,939	
• 本廳運營費	4,643	-	4,643	4,223	420	
• 教育支援 機關運營	3,833	-	3,833	3,331	502	
• 學校費	57,509	-	57,509	51,484	6,025	
• 清州教育廳	45,045	2,523	47,568	46,550	1,018	
• 忠州教育廳	27,485	△457	27,028	25,644	1,384	
• 堤川教育廳	20,482	△470	20,012	18,586	1,426	
• 清原教育廳	19,426	△940	18,486	17,324	1,162	
• 報恩教育廳	12,089	-	12,089	11,044	1,045	
• 沃川教育廳	13,690	△20	13,670	12,923	747	
• 永同教育廳	11,652	△30	11,622	10,830	792	
• 鎮川教育廳	10,454	155	10,609	10,064	545	
• 槐山教育廳	17,652	△711	16,941	15,886	1,055	
• 陰城教育廳	11,519	-	11,519	10,965	554	
• 丹陽教育廳	10,118	△50	10,068	8,804	1,264	

□ 指 摘 事 項

- 適正需要 算定未殆으로 過不足現像 深化
- 豫算不足額 充用을 위한 移用調整시 實所要額 判斷을 疏忽히 하여 增額한 機關에서 不用額 過多發生
(淸州, 鎭川教育廳)
- 給與豫算額의 不足額이 豫測可能하였음에도 追更豫算 (제1회 6. 26)을 통한 需要調整없이 放置후 年末에 移用處理
- 公立國民學校 併設幼稚園 專任講師 人件費 不用額過多 (淸州, 鎭川, 槐山, 陰性教育廳)

□ 措 置 意 見

- 適正需要算定에 留意하여 豫算移用事例 및 不用額 過多發生 抑止에 主力하여야 하겠음.

3. 履行不能 契約締結

現 況

가. 工事發注 時期別

區 分	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
件 數	1	4	6	13	10	6	40 件

나. 年度末 現在進度

區分	10% 未滿	30% 未滿	40% 未滿	50% 未滿	60% 未滿	70% 未滿	80% 未滿	90% 未滿	90% 以上	計
件數	4	2	12	1	6	3	1	5	6	40 件

다. 進度 50% 未滿事業 : 별 첨

指 摘 事 項

- 工事의 所要工期로 보아 會計年度內 不可能한 明白한 事業을 年度末에 發注하여 翌年度로 移越
- 移越事業 總 40件中 年度末 現在 進度가 50% 未滿事業이 19件에 달하고 있음.

措 置 意 見

- 年度內 履行不能 契約締結을 抑止하고
- 移越處理가 不可避한 경우 明示移越事業으로 措置하는 것이 妥當하다고 思料됨.

○ 進度 50% 未滿 工事

(單位：百萬圓)

區分 事業別	豫算額	支出額	移越額	進度 (%)	契約日	所要 工期	實際 竣工豫定	備考
(本廳)								
• 부강공고실습실 중축	202	67	135	38	92.10.24	100	93.5.17	예산성립 (‘92.12.24 성립전 사용)
• 영동농공고실습실 중축	88	22	66	27	10.28	90	93.5.8	
• 상호제작(관급)	9	-	9	-	12.3	30	93.4.3	
(清州)								
• 산남국교교사신축	274	126	148	40	9.15	180	93.7.20	예산성립 (‘92.6.26)
• 봉정국교교사중축	281	100	181	40	9.17	150	93.5.27	
• 서원국교 계단실	68	-	68	10	12.1	150	93.8.2	
• 서원중 계단실	54	-	54	10	11.25	120	93.7.27	
(忠州)								
• 연수국교 설계용역	52	-	52	40	11.16	120	93.3.30	예산성립 (‘92.12.24 성립전 사용)
• 중앙중	39	-	39	40	11.12	90	93.3.1	
(鎭川)								
• 흥광국교 급식소	57	11	46	46	11.26	132	93.4.16	예산성립 (‘92.6.26)
(丹陽)								
• 어상천국교수선	12	-	12	-	12.4	22	93.4.12	

4. 歲出豫算轉用執行疏忽

□ 現 況

가. 規制違反

(單位：百萬圓)

區 分	豫 算 額	前年度移越額	轉 用 額	豫算現額	支 出 額	不 用 額
教育環境改善事業						
(本廳) 高等學校施設						
施設費	1,505	22	△50	1,477	1,433	44
大修繕費	450	22	50	522	517	5
(永同) 國民學校施設						
資產取得費	12		△10	2	2	
施設費	418		△20	398	395	3
大修繕費	75		30	105	105	

나. 過多轉用

(單位：百萬圓)

區 分	豫 算 額	轉 用 額	豫算現額	支 出 額	不 用 額
教育事業費					
(本廳) 試驗檢定費					
手 當	38	7	45	37	8
國內旅費	26	2	28	24	4
需用費 및 手數料	77	△9	68	41	27

□ 指 摘 事 項

- 歲出豫算不足을 補填하기 위하여 行政科目間 轉用을 認定하면서 給與, 施設費, 公共料金등은 他目에 轉用을 禁하고 있음에도 이를 違背한 事實이 있으며,

- 轉用額은 必要한 最少限의 豫算을 增減調整하여야 함에도 이를 疏忽히 하여 不用額이 轉用額을 上廻하는 事例가 있었음.

□ 措 置 意 見

- 轉用規制科目에 留意하여 違背事例가 다시 없도록 留意

- 轉用額 算定에 正確을 기하여 不用額 發生을 抑止하기 바람.

5. 歳出豫算 執行 不合理

□ 現 況

(單位：千円)

機 關 名	事 業 名	科 目	執 行 額	備 考
丹 陽 教 育 廳	魚上川國 校舍修繕	教育環境改善 學 校 施 設 國民學校施設 施設附帶費	5,261	事故移越

□ 指 摘 事 項

— 魚上川國民學校 校舍修繕 豫算을 執行하면서 施設附帶費 5,261千円을 追更등 豫算調整節次없이 大修繕費로 使用하여 이를 事故移越하는등 不合理한 豫算執行을 하였음.

□ 措 置 意 見

— 歳出豫算을 執行할 때에는 歳出豫算執行 管理指針에 의거 執行하고, 부득이한 事由로 다른 費目에 豫算을 使用할 경우에는 適正한 節次를 통하여 正當科目으로 執行토록 要望

6. '91 私立中 財政缺陷 補助金 返納 遲延

現 況

(單位：千圓)

機 關 名	對 象 學 校 數	金 額	精 算 書 提 出 日	返 納 告 知 日	返 納 日	備 考
清州教育廳	6	41,511	'92. 1. 25	'92. 5. 8	'92. 5. 12	
忠州教育廳	3	7,714	'92. 1. 24	'92. 4. 6	'92. 4. 7	
槐山教育廳	2	18,712	'92. 3. 5	'92. 3. 20	'92. 5. 28	
陰城教育廳	3	20,855	'92. 1. 22	'92. 3. 12	'92. 4. 10	

指 摘 事 項

— 地域教育廳 歲出豫算에서 支援하는 私立中學校 財政缺陷 補助金 執行殘額은 會計年度 出納閉鎖期限內에 精算書를 提出받아 檢討한 후 告知書를 發付, 返納 받아 效率的인 資金運用이 될 수 있도록 하여야 함에도, 이를 出納閉鎖期限 經過後 返納 하는등 補助金 精算을 疏忽히 하였음.

措 置 意 見

— 補助金 精算은 會計年度 出納閉鎖期限內에 精算이 될 수 있도록 要望.

7. 歲入金 收納 措置 科目 不適正

□ 現 況

(單位：千圓)

機 關 名	收 納 科 目	正 當 科 目	金 額	備 考
鎮 川 商 高	土 地 賣 却 代	其 他 財 產 賣 却 代	800	道 路 編 入 支 障 物 補 償 金
永 同 農 工 高	◇	◇	330	◇
清 州 教 育 廳	◇	◇	2,947	◇
沃 川 教 育 廳	◇	◇	320	◇
計			4,397	

□ 指 摘 事 項

- 歲入金の 收納은 歲入科目 解釋에 따라 正當科目에 歲入 措置 하여야함에도 道路編入 支障物 補償金에 대하여는 正當科目인 其他財產賣却代로 收納하지 않고 이를 土地賣却代로 歲入措置 하는등 歲入金 收納 科目에 混同을 招來하였음.

□ 措 置 意 見

- 歲入金은 科目을 明確히 확인한 후, 收納될 수 있도록 措置 要望.